

ばんえい競馬を扱った主なテレビ番組

放映年・番組名・放送局名

放映年	番組名	放送局名
平成19年	「土曜スペシャル」	テレビ東京
	「未来予測つながるテレビ@ヒューマン」	NHK
	「朝だ！生です旅サラダ」	朝日放送
	「遠くへ行きたい」	日本テレビ
平成20年	「タカアンドトシのどおーだ！」	UHB
	「いきなり！黄金伝説」	テレビ朝日
	「旅コミ北海道」	テレビ北海道
	「ぼっかや診療所事件カルテ」	朝日放送
平成21年	「タカトシ牧場」	UHB
	「スーパー Jチャンネル」	テレビ朝日
	「出没！アド街ック天国」	テレビ東京
	「プライムH 北海道ひと物語」	NHK
平成22年	「カラフル！」	NHK教育
	「にじいろジーン」	関西テレビ
	「ズームイン!! SUPER」	日本テレビ
	「笑っていいとも！」	フジテレビ
平成23年	「キズナのチカラ」	BS日テレ
	「目撃！日本列島」	NHK
	「報道ステーション」	テレビ朝日
	「爆問パニックフェイス」	TBS
	「みのもんたの朝ズバッ！」	TBS
	「十勝を食べつくせ！～原千晶グルメドライブ～」	HTB
	「知っとこ！」	毎日放送
	「北スペシャル 人と馬世紀を超えて～十勝・最古の草ばん馬」	NHK
平成24年	「とかしスペシャル」	NHK
	「大地のファンファーレ」	NHK
	「遠くへ行きたい」	日本テレビ
	「川越シェフの仰天レストラン！」	STV

平成24年	「ZIP！」	日本テレビ
	「A-studio」	TBS
	「スーパー Jチャンネル」	テレビ朝日
平成25年	「幸せを創る手の物語」	テレビ東京
	「負けてたまるか！」	TBS
	「野々村真&アッキーナが行く！絶景・グルメまるごと冬の北海道」	テレビ東京
	「ほこメたて」スペシャル	フジテレビ
	「撮り旅」	BS-TBS
	「キズナのチカラ」	BS日テレ
	「ペット大集合！」	テレビ東京
平成26年	「人馬一体 ばん馬とともに生きる」	NHK
	「タカトシ牧場」	UHB
	「ハナタレナックス」	HTB
	「にっぽんカメラアイ 帯広 春に生きる『ばん馬』」	NHK BSプレミアム
	「イチオシ！2泊3日の旅～夏の北海道 広大な大地の恵みを感じる旅」	BS日テレ
	「AKB観光大使」	フジテレビ
	「あさイチ」	NHK
平成27年	「日本の旬を行く！路線バスの旅」	BS-TBS
	「おにぎりあたためますか」	HTB
	「GO！GO！WEST！ 冒険したってええじゃないか！」	関西テレビ
	「みんなのふるさと」	フジテレビ
	「ハナタレナックス」	HTB
	「ウイニング競馬」	テレビ東京
	「ちちんぷいぷい」	毎日放送
平成28年	「STVどさんこワイド!! 朝！」	STV
	「今日ドキッ！」	HBC
	「朝だ！生です旅サラダ」	朝日放送
平成29年	「わがまま！気まま！旅気分」	UHB
	「にっぽん真発見」	BSジャパン
	「2017年新春！ニッポン元気が出るお宝百景」	NHK
	「坂上忍のディープな夜遊びツアー」	Amazonプライムビデオ
	「GENERATIONS NO.1 ～ジェネ1～」	テレビ朝日
	「ブギウギ専務」	STV

(注：平成29年3月27日時点)



登録抹消から奇跡の復活を遂げ、マスコミを賑わせたゴールデンパーシ。

各種メディアに登場し 全国区に

ばんえい競馬は世界唯一の競技として、また北海道ならではの馬文化を伝える場として、国内外のメディアから注目を集めています。

帯広の新名所として マスコミも注目

帯広市単独開催となって以来、ばんえい競馬は「帯広でしか見られない世界唯一の競馬」として、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌など各種メディアに度々取り上げられるようになりました。ガイドブックや旅行雑誌での十勝帯広の紹介ページでは必ずと言っていいほど掲載され、観光名所としての認知度が高まっています。こ

うしたメディアでの露出によって、これまで競馬に縁のなかった人にも「ばんえい」が広く浸透していきました。

全国ネットの人気番組やドキュメンタリーに登場

テレビ放送だけを見て、地元局の番組はもとより全国ネットの人気番組やドキュメンタリー番組などで、ばんえい競馬が紹介される機会が年々増えています。内容は、騎手や調教師の密着取材、インタビュー、装蹄師や獣医師の仕事紹介、ばんえい競馬の楽しみ方、ばん馬との触れ合いや力比べ、「中高年の星」として話題になったゴールデンパーシのニュース、北海道の馬文化の紹介など、多岐にわたっています。レースだけではなく、さまざまな側面にスポットが当てられ、幅広い層の視聴者の



ドキュメンタリー番組制作のため、きゅう舎を取材するドイツ国営放送のクルー。

目に留まることになりました。

また、ドオーダッシュの名付け親でもあるタカアンドトシさんをはじめ、大泉洋さんや戸次重幸さん、押切もえさん、福士蒼汰さん、野々村真さん、南明奈さん、杉村大蔵さんなどがレース観戦や模擬レースを体験。多くの著名人がばんえい競馬を楽しむ様子が放映されたことも、視聴者の関心を高めました。

旅番組の人気を背景に、ばんえい競馬と併せて、とかしむらや周辺の観光スポット、十勝のグルメなどが紹介されることも増えています。ばんえい競馬は帯広・十勝を代表する観光資源としても全国に発信されています。

「世界にひとつだけの競馬」に海外メディアも注目

世界でも類を見ないばんえい競馬は、海外からも熱い眼差しを注がれています。これまでに台湾テレビ、中国のカメラ専門雑誌社、韓国MBC放送局、タイTV、アメリカの雑誌「The Draft Horse Journal」(ザ・ドラフトホースジャーナル)、ドイツテレビ協会ZDFなど各国メディアが取材に訪れ、レースの楽しみ方やばん馬の歴史などを、それぞれの視点でレポートしています。

また平成28年2月には、フィリピン映画界の鬼才プリランテ・メンドーサ監督が、帯広とマニラを舞台にした短編映画のため、レースシーンなどを撮影。この作品は同年10月の東京国際映画祭にてアジア・オムニバス映画製作シリーズ「アジア三面鏡」の一作として上映後、世界各国で公開される予定です。



アメリカの雑誌「ザ・ドラフトホースジャーナル」に紹介されたばんえい競馬。フランス人ジャーナリスト・Virginia Kouyoumdjian (ヴァージニア・クユミジャン) さんによる克明なレポートはウェブ版にも掲載されている。